



ぷろふいる、探偵クラブ、ロック、宝石…

大正・昭和に刊行された探偵雑誌の全貌がわかる

探偵雑誌 目次総覧

ミステリー研究者
愛読者、必携!

山前讓 編, ミステリー文学資料館 監修

A5・900頁 定価(本体19,000円+税) ISBN978-4-8169-2173-5 2009年6月刊行



9784816921735

戦前戦後に刊行された35誌の内容目次を一覧

- ・1920年～1960年代に出版された日本の探偵小説雑誌、35誌1,186冊31,000件の内容目次集です。
- ・徹底した原本調査により、小説、脚本、随筆だけではなく、対談、座談会、アンケートなども網羅的に記載。現在入手困難な幻の雑誌を数多く収録、研究資料として貴重なツールです。

各雑誌の解題を記載

- ・各雑誌には、編者・出版社・雑誌の成り立ちなどがわかる詳細な解題が付いています。

「執筆者名索引」で雑誌を横断して調査ができる

- ・「執筆者名索引」により、江戸川乱歩、横溝正史、甲賀三郎ら著名作家の執筆状況を横断的に調べることができます。
- ・ペンネームなど別名を利用している場合には、参照を付与しています。

●収録誌一覧●

新趣味／秘密探偵雑誌／探偵文芸／探偵趣味／探偵・映画／猟奇／探偵／探偵趣味〔平凡社版〕／探偵小説／探偵クラブ／ぷろふいる／探偵文学(シュピオ)／クルー／月刊探偵／探偵春秋／ロック／宝石／トップ／ぷろふいる(仮面)／探偵よみもの／黒猫／新探偵小説／真珠／妖奇(トリック)／Gメン(X)／フーダニット／別冊宝石／影／探偵趣味〔戦後版〕／恐怖街／スリーナイン／探偵倶楽部(怪奇探偵クラブ,探偵クラブ)／探偵実話／鬼／エロティック・ミステリー(エロチック・ミステリー, ミステリー) …全35誌1,186冊

やままえ じゆう
編者：山前 讓

推理小説研究家。1956(昭和31)年、北海道生まれ。北海道大学理学部卒。7年間のサラリーマン生活を経てフリーとなる。文庫解説やアンソロジーの編集を多数手掛ける。平成3年からミステリー評論家の新保博久と共に江戸川乱歩の蔵書目録作成に着手、10年がかりで完成させる。その目録を中心とした共著の「幻影の蔵」で、2003年、第56回日本推理作家協会賞(評論その他の部門)を受賞。著書に「日本ミステリーの100年」(2001)、編書に「推理小説雑誌細目総覧(1)／昭和20年代編」「女性ミステリー作家傑作選」「文豪のミステリー小説」「ねこ!ネコ!猫!」など。

監修：ミステリー文学資料館

1999年4月開館。ミステリーに関心を持つ作家、研究者、一般読者のために、戦前・戦後の探偵・推理雑誌、小説、参考図書、全集・叢書、アンソロジーなどの資料を収集、保存、閲覧するために設立された、世界でも稀なミステリー専門の図書館。

2020.6

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	探偵雑誌目次総覧		
	定価(本体19,000円+税) ISBN978-4-8169-2173-5		冊
注文書	■お名前		

11 『ぶろふいる』

11 『ぶろふいる』

【刊行期間・全冊数】1933.5—1937.4 (48冊)
 【刊行頻度・版型】月刊、菊判
 【発行所】ぶろふいる社（京都、第1巻第1号～第1巻第4号）、ぶろふいる社（東京、第1巻第5号～第5巻第4号）
 【発売所】大盛社（京都、第1巻第1号～第1巻第4号）
 【発行人】熊谷晃一（第1巻第1号～第1巻第5号、第1巻第7号～第4巻第8号）、熊谷市郎（第1巻第6号）、堀場慶三郎（第4巻第9号～第5巻第4号）
 【編集人】馬場重次（第1巻第1号～第1巻第5号）、熊谷市郎（第1巻第6号）、熊谷晃一（第1巻第7号～第4巻第1号）、三上紫郎（第4巻第2号～第5巻第4号）
 【概要】京都の資産家の熊谷晃一が創刊した雑誌で、当初は関西の探偵作家や愛好家が主たる執筆陣で、新人発掘にも意欲的だったが、ほどなく東京支社を開設し、在京の既成作家にも寄稿を求めた。こうした編集方針の変更によって、当時の探偵作家がほとんど登場し、斯界の動向をもっとも伝える探偵雑誌となっていく。江戸川乱歩が評論「鬼の言葉」や自伝「彼」を連載し、甲賀三郎の「探偵小説講座」が論争を巻き起こした。また、井上良夫が本格的に評論活動を始めた雑誌でもある。
 小説では、大下宇陀児『ホテル・紅館』や蒼井雄『瀬戸内海の惨劇』の連載のほか、積極的に新人を起用し、左頭弦馬、西尾正、蒼井雄、若松秀雄、光石介太郎、金来生、西島亮、平塚白銀らが個性的な短編を発表した。だが、『ぶろふいる』以外で活躍した作家は少ない。また、その翻訳には難があったとはいえ、クイーンやセイヤーズの長編連載もあった。
 戦前の探偵雑誌としてはもっとも活気に満ちていたなか、1937年、編集部を東京に移し、5月より『探偵倶楽部』と改題していっそうの発展を意図した。だが、その新しい誌名の探偵雑誌が発行されることはなかった。

第1巻第1号（資料館所蔵有）
1933年5月1日 78頁 20銭

証拠の偶中(小南 又一郎)4～7
 二階から降りきた者(小説)(山本 禾太郎)8～17
 ビラスキ公爵の懺悔(小説)(エル・ゼ・ビースト
 ン〔著〕, 西田 政治〔訳〕)18～23
 実父に脅迫状(XYZ)23
 裸で暮す男(XYZ)23
 刑事生活三十余年の思ひ出を語る夕(座談会)(山
 本 重忠、本誌同人)24～35
 犯罪と耳(好奇生)36
 屁の話(高田 義一郎)38～41
 ぶろふいるに寄する言葉(森下 雨村, 江戸川 乱
 歩, 延原 謙, 海野 十三, 一ノ木 長賢, 角田 喜
 久雄, 春日野 緑, 大下 宇陀児, 水谷 準, 夢野
 久作, 岸 孝義)38～51
 指紋の怪(小説)(波多野 狂夢)42～48
 僕の心境とプロフィール(波多野 狂夢)43
 指紋に就いて(内藤 嘉輔)49～50
 犯罪記録(棚橋 基)51～53

梅干壺の嬰兒(森 若狭)54～57
 探偵小説とヂャーナリズム(九鬼 澹)58～59
 火あそび(小説)(ジョン・B・ケネディ〔著〕, 青井
 素人〔訳〕)60～65
 隠語おん・ばれいど(一)(堂下 門太郎)66～67
 横顔はたしか彼奴(一)(小説)(山下 利三郎)68～78
 編集後記78

第1巻第2号（資料館所蔵有）●
1933年6月1日 82頁 20銭

探偵趣味を語る(曾我 廼家 五郎)4～7
 ブロークン・コード(一)(小説)(アーネスト・M・
 ポート〔著〕, 大井 正〔訳〕)8～23
 今様女浦島物語(小説)23
 ラヂオ・アリバイ(小説)(バートン・E・ロビンソ
 ン〔著〕, 伊東 利夫〔訳〕)24～25
 悲しき船路(小説)(H・H・マチソン〔著〕, 土呂 八

ミステリー文学資料館
の所蔵情報付き

執筆者名索引

こうか

執筆者名索引

甲賀三郎

妖婦(小説) 07『探偵』 1 (3) '31.7.1 p48～58
 浜尾さんの麻雀
 10『探偵クラブ』 9 '33.3.6 p16～17
 全集の完結に際して
 10『探偵クラブ』 10 '33.4.24 p2～3
 小笛事件(小説)
 11『ぶろふいる』 4 (7) '36.7.1 p130～131

水晶の角玉

12『シュピオ』 3 (4) '37.5.1 p173～189
 緑色の犯罪(小説)
 19『トップ』 2 (3) '47.6.25 p32～41
 街にある港(脚本)
 18『宝石』 5 (1) '50.1.1 p202～213
 悪戯(小説)
 32『探偵実話』 3 (11) '52.9.30 p100～103